

# さくら

発行：平成23年9月10日  
広報委員会

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)

**基本理念** 私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

## 基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 患者さまの全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 全職員の良いチームワークによる患者さま中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安心な医療を提供します。
5. 患者さまの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

## 患者さまの権利と責任

1. 患者さまは、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、どなたも、どのような病気でも平等かつ公平に必要な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 患者さまは、十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
5. 患者さまが、セカンド・オピニオンを希望される場合、当院は快く診療情報を提供します。
6. 患者さまは、お互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る責任があります。

## 東日本大震災に思う

副院長 小林 宗光

3月11日の東日本大震災、あの誰もが言葉を失って立ち尽くした大震災と津波から5ヶ月が経ちました。被災された方々に心からのご冥福とお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

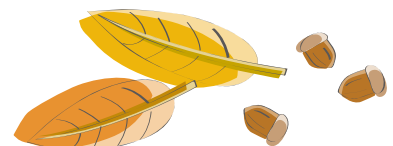
マグニチュード9.0の地震とともに東日本を襲った、海が立ち上がるのを見たとも、山のように黒い波とも言われた大津波は人も、町も、経済も、思い出さえも、何もかも根こそぎ奪い去って行きました。あまりにも深い傷跡に胸が塞がれる思いです。そんな冷え切った心をいっそう凍らせたのは福島第一原子力発電所の事故でした。

震災の時、私は外来で乳児健診中でした。大きな揺れが長く続き、診察室の戸（ベビーカーが入りやすいようにドアではなく引き戸）が左右に動き始めました。赤ちゃんを抱いた母親は不安そうな顔で出口の方に体をねじりながら思わず立ち上がり、そわそわし始めたので「この病院は新しいので大丈夫ですよ」と母親に声をかけながらも病棟は大丈夫かな？という思いが頭をよぎりました。「お母さんは知らないと思いますが新潟の大地震の時もこんな風に揺れたので震源地が東京からある程度離れた所だったら大地震かもしれませんね」などと、母親を安心させようと昔の記憶を話しかけていましたがこれほどの大地震だとは思ってもよかったです。ほどなく施設課長より「この病院は倒壊しません、大丈夫です、落ち着いて行動してください」という院内放送が流れ、これは動揺した人たちにはとても効果的でした。まもなく医療安全管理者より目立った被害がないと直接報告があり、病院が地震に対応し、有機的に動いているという実感を得、一安心しました。それをつかの間、その後のニュースで大震災を知りました。携帯電話、公衆電話、メールは通じなくなり、電車が止まり、都内だけでなく小金井周辺でも道路は人と車で渋滞、そして病院でも帰宅困難者の対策が必要になりました。その

翌々日には突然の計画停電の発表で混乱、直接の被害はなかったですが、震災ではこれらが大規模かつ長期間続くことに対応しなければならなくなると思いました。

当院では2年前から災害対応マニュアルを作成中ですがまだ完成には至っていません。昨年12月にはマニュアルを検証する意味で、地震発生時の初期対応の訓練、初回でしたので災害対策本部の立ち上げ、被災状況の報告、参集した職員をホワイトボードに部門ごとに登録などを行いました。今年7月に開催された日本カトリック医療施設協会全国大会では被災した仙台市のスペルマン病院から、「マニュアルや日頃の訓練が役立った、懐中電灯だけでは暗い、ラジオが情報源となった。ガスの復旧に時間がかかりLPガスを設置、ホワイトボードの活用は有効、トイレはポータブルにおむつを敷いて使用」等、具体的で参考となる報告がありました。当院は小金井市から災害拠点病院の指定を受けており、その内容については小金井市と協議に入ったばかりです。東南海地震の発生を数十年以内と予測する専門家もいます。小金井市や医師会との連携を踏まえたマニュアルの完成が望まれます。

外国のメディアの多くが、震災直後の悲劇と絶望の中でも略奪や暴動を起こさず秩序だてて行動する日本人を驚嘆の目で見、連帯の絆の強さを「日本はみんなが他のみんなのことを気遣う大きな村のようだ」と報道しています。災害で破壊される度に日本人はより安全で、より優れたものを再建してきました。震災の完全なる復興と一日も早い原発事故の収束を祈りたいと思います。



# ワクチンの話

今年も10月になるとインフルエンザワクチン接種の時期になります。毎年、ワクチン接種では、外来が混雑してご迷惑をおかけしています。

では、いったいワクチンとはどういったものなのでしょうか。

ウイルスや細菌などの病原体が人間の体に侵入し増殖することにより起こる病気を「感染症」といいます。

ワクチンとは、人間が持っている「異物を排除する力（免疫）」を利用して、さまざまな感染症に対する「免疫」をあらかじめ作らせておく製剤のことです。そして、ワクチンをあらかじめ接種することで、いざ本当の病原体が侵入してきたときに、すばやく免疫による防衛反応が働き発病せずすむのです。

ただ、ワクチン接種から免疫が作られるまでに数週間から1か月程度の時間がかかります。

## ●ワクチンの種類

「ワクチン」には大きく分けて「生（なま）ワクチン」と「不活化（ふかつか）ワクチン」、「トキソイド」の3種類があります。生ワクチンは、毒性や感染力を弱めた生きているウイルスや細菌などでつくったワクチンで、感染を起こして免疫を作ります。ウイルスや細菌が体内で増殖するので、接種後しばらくしてから発熱や発疹など、その病気の症状が軽く出てくる場合があります。

不活化ワクチンは、加熱やホルマリンなどの薬剤を用いて処理をし、感染力や毒力をなくした病原体ないしその成分で作ったワクチンで、生ワクチンのように体内で増殖することがないので、1回接種しただけでは必要な免疫を獲得・維持できないため、数回の接種が必要です。

トキソイドは、細菌の作り出す毒素を取り出し、毒性をなくして免疫原性だけを残したもので、不活化ワクチンの一種です。

## ●ワクチンの同時接種について

現在は、日本でも接種できるワクチンの種類が増え、生後6ヶ月から1歳を過ぎたあたりはワクチン接種のピークとなり、どのワクチンから接種したらいいのか迷われている方も多いのではないかと思います。

そんな時のひとつの解決法はワクチンの同時接種です。

同時接種は同じ日に複数のワクチンを接種することですが、それぞれのワクチンは混合することができませんので、右・左と腕を変えて注射するか、同じ腕でも間隔をあけて注射をします。

同時接種により、それぞれのワクチンの効果が弱まることはないと言われており、それぞれの副反応も増強することはないと言われています。

ただ、副反応の可能性は足し算されますのでやや多くなるかもしれません。それでも副反応の多くは一過性の発熱などで重篤な合併症はごくまれです。

1日に何種類ものワクチンを同時に接種することでお子さんへの負担が増えると考えられる方もいらっしゃると思いますが、たしかに1日に何回も針を刺すという負担はありますが、何回も来院してそのたびに痛い思いをするよりは、1日で済むことでお子さんへの負担が軽くなると考えられるかもしれません。また、来院回数を減らせることで、親御さんの負担を軽くすることになると思います。

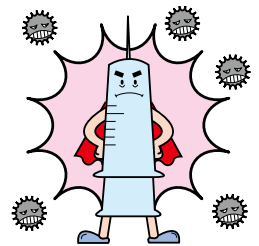
## ●ワクチン接種を上手にうけるには

ワクチン接種は体調の良いときに受けていただきたいと考えています。しかし、乳幼児は自分では体調を伝えられないので、親御さんがよくみて、ぐずっていないか、だるそうにしていないか、気になる発疹はないかなど、普段と違う様子はないか、体温以外のことにも注意をはらっていただきたいと思います。

そしてすこしでも気になることがあるときは、医師に相談してください。

ワクチンをスケジュール通りに接種するのは、むずかしいものです。ワクチン接種の前は人混みに連れ出さない、疲れさせないなどお子さんの体調への配慮をして上手に乗り切ってください。それでも風邪をひいたり、お腹をこわしたりしてしまうと予定がくるってしまうことがあります。そのときは、かかりつけの医師に相談してワクチン接種のスケジュールを見直しましょう。

ぜひ早め早めのワクチン接種を心がけてください。



薬剤科長 池淵 剛

## 秋の味覚の健康レシピ

暑い夏もようやく終わり。秋は夏の疲れを回復させ、冬の寒さに備える季節です。

そして食欲の秋と言われるように、秋の食材は大変おいしく、食欲もすすみます。

秋刀魚、秋鮭、秋茄子、きのこなど秋の味覚はたくさんありますが、その中のきのこを使った簡単なレシピをご紹介します。

きのこ類は糖尿病、高血圧、動脈硬化、便秘などの予防に効果的な食物繊維が豊富で、低カロリー。そして腸管からカルシウムの吸収をアップさせるビタミンDも含まれていますので、旬の一番おいしい時期に上手に料理を取り入れて見てください。

### ■きのこのスープパスタ

#### 材料（2人分）

スパゲティ	100g	生シイタケ	60g
しめじ	100g	まいたけ	100g
バター	10g	にんにく	1かけ
みそ	30g	牛乳	400cc
粉チーズ	2g	パセリのみじん	少々
塩、こしょう	適宜	白ワイン	20cc

エネルギー 330kcal

カルシウム 251mg

食物繊維 5g

#### 作り方

- ①にんにくのみじん切り
- ②しいたけは石づきを取って厚めにスライス
- ③フライパンにバターを溶かし、
  - ①を香りが出るまで炒め、
  - ②を加えてさらに炒める
- ④白ワインを加え、蓋をして蒸し焼きにし、塩、こしょうをする
- ⑤牛乳とみそを加えて二度煮立ちさせ、スパゲティを入れる
- ⑥皿に盛りつけて、粉チーズ、パセリをふる



きのこはどんなものでもお好みで……

栄養科長 松尾 敦子

# 職場紹介 療養病棟

## 療養病棟師長 大野とも子

療養病棟は、在宅での生活が困難な医療度の高い患者さまを、お世話させていただく病棟です。いわゆる、治療優先の一般病棟とは違った側面を持っています。そのため、配置されている医師の数は1名ですが、一般病棟の医師を始め、多職種の方と連携を取り、患者さまを、サポートするしくみが出来ています。

入院患者さまは、高齢の方がほとんどで、平均年齢は80歳代になります。その方々の抱えている病気を、うまくコントロールしながら、残された身体機能を最大限に引き出し、保てるように工夫し、療養生活を安全で楽しいもの出来るよう、努力しています。

当然、病院ですと検査や処置などもありますが、その合間に、食事・入浴・睡眠などの日常生活を出来るだけ、御自宅に居る時と近い環境で提供できるように、工夫しています。例えば、御食事は、なるべくベッドサイドで摂っていただくのではなく、車椅子などにお乗りいただき、デイルームまでご案内しています。そこで、音楽を聴きながら、皆さんで楽しく食べて頂くようにしています。

また、たくさんのボランティアの方々に支えられ、レクリエーションの企画・実施も行っています。季節ごとにひなまつりや七夕まつり・お月見などの行事に飾り付けをして、歌をう

たったり、ボランティアの方に踊っていただいたり、楽器の演奏会をしていただいたりしています。病院で過ごしていると、季節や時間の感覚が、分からなくなってしまうがちですが、病状にあわせて、出来るだけそうならないように、努力しています。

こういった関わりの中で、患者さまの個人史をお聞かせいただき、病気を抱えた環境の中でも、より快適に御自宅でゆっくりとお過ごしになるのと、同じような工夫をしていきたいと考えています。また、御家族のご希望も取り入れるように、面談を実施して、ケア計画書を作成しています。これは、医療者がどんな目標を持って、患者さまにどんなケアを提供するのかを、御家族と相談しながら決めていくための計画書です。療養病棟スタッフとリハビリなどの他職種の方と、御家族とがチームになって、患者さまをサポート出来るように、今後もこのケア計画書を活用し、努力していきたいと考えています。



## 地域医療連携パス

### 運営部長 瀬口 秀孝

「地域医療連携パス」という言葉が最近よく聞かれるようになったと思います。これは大腿骨骨折や脳卒中等の病気の治療の際に、患者さんが効率よく治療が受けられ、早く退院できるようにするために作られた治療の計画書のことです。急性期の病院、慢性期の病院、診療所の中で患者さんの情報を共有し、入院から退院、退院後について、スムーズな治療が行えるように計画が作られています。実際には、急性期病院に入院し、手術等の急性期の治療を受け、落ち着いた時期に転院し、慢性期病院でリハビリテーション等の退院までの治療を受けます。退院後は診療所等で治療の継続を行います。各々の医療機関が密接な連絡をとっているため、病状の変化

などへの対応も考慮されており、安心できるシステムです。また、心筋梗塞、がん、糖尿病についての連携パスも運用が開始されてきています。桜町病院は慢性期の病院の役割を担っており、現在、大腿骨骨折、脳卒中中の患者さんを近隣の急性期病院から受け入れています。各医療機関の間の連携が強化され、より良い医療が提供されることが期待されます。

## トピックス



### 第47回カトリック医療協全国大会開催

去る、7月22日(金)と23日(土)の両日、第47回カトリック協議会全国大会が福岡県小倉市で開催された。今年は3月の東日本大震災による甚大な被害下にあることから開催については、慎重な意見もあったが、『人に仕える医療』～理念のさらなる実現を目指して～を大会のテーマとして予定どおり開催された。大会では基調講演「日本のカトリック医療施設の歩み」(五島聖マリア病院院長)から始まり、参加施設における日頃の業務改善や研究の成果の発表、特別講演「理念を活かす経営」(淀川キリスト病院常務理事)、被災病院や現地支援病院からの報告など大震災の1日も早い復興を願いつつ充実した2日間となった。

### 小金井市との防災に関する打ち合わせ実施

7月13日(水)、当院において大地震を想定した小金井市の防災計画における当院の役割や今後検討すべき課題などに関し小金井市防災担当者との意見交換を行った。小金井市には災害協点病院などの大病院はなく、当院が一定の役割を担うことは職員共通の理解ではあるが、果たせる範囲には限界があること、役割を実行するに当たっての体制作りや備品支援について、市や医師会との協議を重ねる必要があることを確認するとともに、市には課題として持ち帰っていただいた。

## コラム

### 「節電の夏」

大震災による原発事故。節電を余儀なくされている。医療機関は節電対象外とされたとはいえ、ひとり何事もなかったかのふるまいは許されない。当院においては、職員の協力により7月は昨年同月比19%の節電を達成することができた。少しは東電の電力需要バランスに協力できた。昨年程の暑さではないものの、今年も異常な暑さ、その中で7月の結果。職員には感謝である。

さて、これまでは順調に需給バランスを取ってきているものの「節電の冬」、来年の「節電の夏」……を如何に迎えるか。この際皆で、行く末の生活の在り様も含め、立ち止まってじっくり考えたいものである。

事務部長 富田周次

### ボランティア活動の紹介

## 病院案内



### 看護部長 奥野喜美子

患者さんが病院にいらして最初に出会うのが病院案内のボランティアの方々です。

患者さんや来院者の案内・受診科の相談・車椅子へのお手伝い・タクシーのお世話、車の乗降のお手伝いなど、玄関周辺で発生する多彩な出来事に対応していただいております。

数年前のボランティア便りにこんな文章が寄せられていました「ボランティアの日が来ると、いつもより早く起き緊張します。この緊張感が私にとっていいのです。鏡を見てスマイル、心穏やかに整え、良い働き手となりますようにと家を出る。…病院内の案内も第一ですが、私は患者さんが病院にいらして少しでも気持ちが悪くならないように、患者さんの心の傷みの何分の一でも良いから私に預け、少しでも軽くなれますように、との思いでしております」。こんな温かい気持ちで当院を支えていただいているボランティアの方々感謝すると共に、敬服しております。ボランティアの方々がいて下さるだけで、その場が温かい雰囲気になり、病院玄関を行き来する患者さんや職員にとっても心温まる存在となっています。

最近ではご高齢の方も多く、案内だけではなく、忘れ物や落し物・話し相手なども多くなっているようです。現在11名の方に活動していただいておりますが、活動の輪が更に広がることを願うとともに、愛される病院づくりに今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

# 外来診療担当表

平成23年9月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金	土
内科	新患	楠本(新患)	佐藤(新患)	林(志)(新患)	平峯(新患)	佐藤(新患)	(交替)
		林(志)	瀬口	瀬口	竹内	林(志)	柏本(第3・第5)
	午前	平嶺	平嶺	楠本	高倉	土持	後藤
		岡本	土持	竹内	佐藤	柏本	奥村(糖尿病)
			坂田	岡本	古木		
	内視鏡	石井					
		糸井(月1回)					
	午後	林(正)	井上	大井(裕)(第2予約制)	井上		
			佐藤				
	内視鏡			福神	高倉	栗原	
精神神経科	午前	寺田(新患は予約制)	寺田	寺田	寺田	仁王(新患は予約制)	寺田
		森本(新患は予約制)			宮島(新患は予約制)		黄野(再診のみ)
小児科	午前	小林	小林	小林	杉立	小林	小林
		杉立	山田	杉立	山田	杉立	杉立
		山田		山田			山田
	午後	小林(心臓)	山田	杉立(一般・神経)	杉立		
		杉立		山田	中野		
	予防接種	町田(第3のみ)	町田(一般・アレルギー)				
外科	午前	山田	小林	山田	山田		
		植木	池野	李	植木	池野	池野(第2・第4)
	内視鏡						植木(第1・第3)
				植木	池野		(交替)(第5)
乳腺外科	午後				伊東	井本(偶数週)	
脳神経外科	午後			石島(紹介患のみ)			
整形外科	午前	大堀	柴崎	柴崎(予約制)	大堀(予約制)	大堀(予約制)	佐藤
		山口(予約制)	増岡(予約制)	山口	増岡	山口	(交替)
リハ	午前				補永		
	午後					高橋(最終週)	
産婦人科	午前	向田(利)	長谷川(芙)	向田(利)	井坂(予約制)	伊東	長谷川(芙)
		長谷川(芙)	向田(一)	嶋田(予約制)	長谷川(真)	石川	嶋田
				飯村			
眼科	午前	大井(禎)	大井(禎)	宮本(第1・第3)	大井(禎)	大井(禎)	平岡
ホスピス科	午後	小穴		小穴		林(裕)	
				林(裕)			
				大井(裕)			

**休診日** 日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

**受付時間** 8:30~11:30  
午後診のある診療科の受付時間は各科により異なりますので、各科にてご確認ください。

**診療時間** 9:00~13:30~  
月曜日~金曜日の14:00~15:30の間、電話による予約受付を行っております。  
電話 042-383-4111(代表)  
ただし、一部の科では電話予約は行っておりません。  
精神神経科は初診、再診とも全て予約制となっております。



### 浴恩館公園

当院から東に10分程の所にある公園。中心にあるのが京都御所で御大典に使われ移築した「浴恩館」(現在は小金井市文化センターとして使われている。)と呼ばれる由緒ある建物。昭和の初め、ここに青年団講習所が開設され、所長を務めた作家・下村湖人は園内に建つ「空林荘」で「次郎物語」の構想を練った。春はつつじ、秋は紅葉が美しい。

## 編集後記

大震災の傷跡は癒えるどころか、原発事故の影響はさらに広範囲に拡大し、食の安全や子供の育成をも脅かす状況となっています。被災された方々は元より、被害の様々な影響を思うと暗澹たる気持ちになります。安全を甘く見た、人類の恐れを知らない挑戦の危うさを改めて認識せざるを得ません。私たちはこれまでのライフスタイルを見つめ直し、自然との共存を決意することが必要ではないでしょうか。(周)